





## 平成21年度 主催講座一覧


### インタープリター主導講座


講座番号	No. 1	
区分	インタープリター主導	
講座名	アイデア貯金箱を作ろう！	
日時	7月18日(土)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	32人	
ねらい	不用品を活用した工作を楽しむ	
概要	容器包装を使ったクラフト	
実施内容	お菓子の空箱や画用紙などを使い、貯金箱をつくった。お金を入れると動く仕掛けを入れ、夏休みの工作として活用できるように工夫をした。	
参加者の反応	小学校低学年を中心に大人気だった。親子で工夫を凝らしながらつくっていた。	
材料・道具	円筒形の空箱、画用紙、はさみ、のりなど	


講座番号	No. 2	
区分	インタープリター主導	
講座名	絵手紙灯ろうでエコを楽しもう	
日時	8月25日(火)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	16人	
ねらい	絵手紙を通してエコを考える	
概要	不用品や容器包装を使ったクラフトと絵手紙づくり	
実施内容	空き缶や空のティッシュボックスなどの不用品を使って灯ろうをつくり、自分で描いた絵手紙を貼り付ける。家族に向けたメッセージや家庭で取り組むエコを考えた。	
参加者の反応	絵手紙初心者が多かったが、苦心しながらも楽しんで描いていた。家族でエコについて考える時間の大切さに一同頷いていた。	
材料・道具	和紙、絵筆、絵の具、墨汁、梅皿、竹ひご、ティッシュの空箱、空缶、ろうそくなど	


講 座 番 号	No. 3	
区 分	インタープリター主導	
講 座 名	秋の夜長 エッグアートを楽しもう	
日 時	11月21日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	19人	
ね ら い	不用品を活用した工作を楽しむ	
概 要	卵の殻を使ったクラフト	
実 施 内 容	卵の殻に色を付け細かく割り、モザイク画のようにはがき大の紙に貼っていき作品を作った。	
参加者の反応	切り絵のように、幼児でもとても簡単につくれるため、好評だった。	
材 料 ・ 道 具	卵の殻、ラッカーズプレー(事前に着色)、画用紙、ボンド、ピンセットなど	

講座番号	No. 4	
区分	インタープリター主導	
講座名	絵手紙でエコを発信しよう	
日時	1月30日(土)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	6人	
ねらい	絵手紙からエコについて考える	
概要	エコを題材にした絵手紙づくり	
実施内容	地産地消の野菜など、エコに関連したものを題材に絵手紙を描いた。	
参加者の反応	初めて絵手紙に取り組む参加者にも好評で、小学生も作品づくりに熱中していた。	
材料・道具	画仙紙、絵筆、絵の具、墨汁、梅皿など	


講 座 番 号	No. 5	
区 分	インタープリター主導	
講 座 名	親子でつくる竹はし&はし袋	
日 時	3月7日(日)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	親子	
参 加 人 数	31人	
ね ら い	自然の素材を使ったクラフトを楽しむ	
概 要	竹を使ったクラフトとレクチャー	
実 施 内 容	竹でつくるマイ箸と牛乳パックを使った箸袋をつくった。国内の割箸使用量の多さや資源を有効に使うことの大切さを伝えた。	
参加者の反応	親子で気軽にクラフトを楽しむことができ好評だった。つくった箸をマイ箸として使ってみるという声も多く聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	竹、紙やすり、牛乳パック、和紙、のりなど	


講座番号	No. 6	
区分	インタープリター主導	
講座名	のぞいてみよう！リサイクル万華鏡	
日時	3月20日(土)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	15人	
ねらい	不用品を活用した工作を楽しむ	
概要	不用品や包装紙を使ったクラフト	
実施内容	トイレットペーパーの芯や包装紙などの不用品を活用して万華鏡をつくった。	
参加者の反応	親子での参加が多く、クラフトを楽しんでいた。不用品も工夫次第で素敵な作品になることに驚いていた。	
材料・道具	トイレットペーパーの芯、画用紙、包装紙、ミラーシート、はさみ、のりなど	


講座番号	No.7	
区分	クッキング	
講座名	みんなでクッキング ～お米を食べよう	
日時	1月28日(木)10:00～13:30	
講師	エコクッキングWG	
対象	小学生以上	
参加人数	14人	
ねらい	お米を使った料理を通して、生産、買い物、調理、処理のエコの気づきを促す	
概要	お米を使ったクッキング	
実施内容	地元の食材を使って、五色餅とみそ汁、漬物をつくった。また、買い物、料理、片付けで取り組めるエコについてレクチャーを実施した。	
参加者の反応	実際に調理をする中で、家庭で取り組める料理のエコについて伝えることができた。	
材料・道具	もち米、五色あん、みそ、わかめ、白菜、大根、にんじんなど	


講座番号	No.8	
区分	クッキング	
講座名	みんなでクッキング ～おこしものづくり	
日時	3月28日(日)10:00～13:30	
講師	エコクッキングWG	
対象	小学生以上	
参加人数	20人	
ねらい	お米を使った料理を通して、生産、買い物、調理、処理のエコの気づきを促す	
概要	お米を使ったクッキング	
実施内容	みんなで地元の食材を使って、おこしものとごぼうのつみれ汁をつくった。また、食料自給率についてのレクチャーを実施した。	
参加者の反応	初めてつくる参加者にも、簡単に好評だった。またやってみたいという声が多かった。	
材料・道具	上新粉、砂糖、ごぼう、片栗粉、にんじん、ほうれんそう、みそなど	





講座番号	No. 9	
区分	エコ手芸教室	
講座名	刺し子のエコバッグをつくらう	
日時	4月11日(土)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	17人	
ねらい	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	刺し子を利用したエコバッグづくり	
実施内容	市販の布製バッグに刺し子の刺繍を入れ、オシャレなエコバッグをつくった。	
参加者の反応	時間をかけてつくったため、完成した達成感は大かった。使うときの愛着にもつながる。	
材料・道具	無地のエコバッグ、刺し子糸、接着芯、裏地布など	


講座番号	No. 10	
区分	エコ手芸教室	
講座名	庭や畑作業で使える！ミニ腕カバー＆帽子づくり	
日時	5月9日(土)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	19人	
ねらい	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	不用になった布地を使った実用品づくり	
実施内容	古布や手ぬぐいを使って、農作業や庭作業に使える腕カバー・帽子をつくった。	
参加者の反応	実用品ということで、実際に使ってみたい、知人にもつくってあげたいという声が出ていた。	
材料・道具	不用になった布、ゴム、裁縫道具、ものさし	


講 座 番 号	No. 11	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	Tシャツでつくるバスマット	
日 時	6月13日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	21人	
ね ら い	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になったTシャツを使った実用品づくり	
実 施 内 容	不用になったTシャツを裁断し、編みこんでバスマットにリメイクした。	
参加者の反応	T シャツを有効活用するというアイデアに感心する方が多かった。完成した作品にも満足している様子だった。	
材 料 ・ 道 具	不用になったTシャツ、はさみ、ガムテープ	

講座番号	No. 12	
区分	エコ手芸教室	
講座名	手づくりマイボトルカバー	
日時	7月11日(土)9:30～12:00	
講師	インタープリター	
対象	中学生以上	
参加人数	18人	
ねらい	かんたんにできる手芸を楽しみながら容器包装の原料について考える	
概要	手軽にできるマイボトルカバーづくり	
実施内容	編み物で水筒入れとして活用できるマイボトルカバーをつくった。	
参加者の反応	編み物の初心者が多かったため時間がかかってしまったが、満足度は高かった。	
材料・道具	サマーヤン、鉤針など	


講 座 番 号	No. 13	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	リバーシブル帽子をつくろう	
日 時	8月8日(土)9:30～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	18人	
ね ら い	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になった布地を使った実用品づくり	
実 施 内 容	古布とデニム地を組み合わせ、帽子をつくった。	
参加者の反応	実用的でオシャレな帽子ができ、とても満足したようだった。時間は少し足りなかったようだ。	
材 料 ・ 道 具	デニム、はぎれの布、裁縫道具	

講 座 番 号	No. 14	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	防災頭きんをつくろう	
日 時	9月12日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	18人	
ね ら い	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になった布地を使った実用品づくり	
実 施 内 容	不用になったタオル地の布やひざ掛けなどを活用して防災頭きんをつくった。9月1日は防災の日でもあり、防災グッズの紹介や防災意識について、参加者同士で情報交換も行った。	
参加者の反応	簡単にできるので家族の分もつくってみたいという声が聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	不用になったバスタオル、裁縫道具	


講 座 番 号	No. 15	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	ネクタイでポシェットをつくろう	
日 時	10月10日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	19人	
ね ら い	不用になったネクタイを活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になったネクタイを使った実用品づくり	
実 施 内 容	不用になったネクタイを活用してポシェットをつくった。	
参加者の反応	「オシャレ」という声が多く聞かれ、大変好評だった。また参加できなかった方からも「つくり方を教えてほしい」という声が多く聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	不用になったネクタイ、裁縫道具、はさみ、ホックなどの止め具など	


講座番号	No. 16	
区分	エコ手芸教室	
講座名	新聞紙でバッグをつくろう	
日時	11月14日(土)9:30～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	16人	
ねらい	新聞紙を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	新聞を使った手軽なバッグづくり	
実施内容	朝刊や英字新聞などの新聞を使ってバッグをつくった。また、バッグにつけるストラップをひもを編んでつくった。	
参加者の反応	作り方は少し難しかったが、子ども連れの親子も上手につくれていた。	
材料・道具	新聞紙(6枚)、水のり、ものさし、はさみ、ボタン、ひもなど	





講 座 番 号	No. 17	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	アクリルたわしをつくろう	
日 時	12月12日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	大人	
参 加 人 数	20人	
ね ら い	アクリル毛糸を使った手芸を楽しみながら水を汚さない暮らしについて考える	
概 要	台所で使えるエコな実用品づくり	
実 施 内 容	アクリル毛糸を使ってたわしを編んだ。また、洗いものなどで水を汚さないエコな工夫をレクチャーした。	
参加者の反応	色の組み合わせによる違いを見せ合ったり、参加者同士のコミュニケーションがはずんでいた。	
材 料 ・ 道 具	アクリル毛糸(2色)、編棒	


講座番号	No. 18	
区分	エコ手芸教室	
講座名	広告ちらしでかごをつくろう	
日時	1月16日(土)9:30～12:00	
講師	インタープリター	
対象	小学生以上	
参加人数	15人	
ねらい	広告を使った手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概要	広告を使った実用品づくり	
実施内容	決まった長さに切って折った広告を編みこんで、小物入れをつくった。	
参加者の反応	楽しかったという声がある一方、難しかったという声も聞かれた。	
材料・道具	新聞の折り込みチラシ、はさみ、ボンド	


講 座 番 号	No. 19	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	はぎれを使ったお手玉ポーチ	
日 時	2月20日(土)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	大人	
参 加 人 数	20人	
ね ら い	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になった布地を使った実用品づくり	
実 施 内 容	古布をオーガンジーに重ね合わせ縫い合わせ、ファスナー付きの小さなポーチをつくった。	
参加者の反応	今回の作品は簡単につくることができ、手間をかけなくても素敵な作品がくれたため、感動が大きかったようだった。	
材 料 ・ 道 具	はぎれの布、オーガンジー、ファスナー、裁縫道具	

講 座 番 号	No. 20	
区 分	エコ手芸教室	
講 座 名	ダルマお手玉	
日 時	3月13日(土)9:30～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	17人	
ね ら い	不用になった布地を活用した手芸を楽しみながら「もったいない」の精神を育む	
概 要	不用になった布地を使った雑貨づくり	
実 施 内 容	古布を縫い合わせ、お手玉として遊ぶだけでなく飾ることもできるだるまの人形をつかった。	
参加者の反応	かわいい作品ができてよかったという声が多く聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	はぎれの布、綿、白布、接着芯	


講 座 番 号	No. 21	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	おもりのはたらきを調べよう	
日 時	4月12日(日)9:30～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	17人	
ね ら い	おもりの働きについて学ぶ	
概 要	おもりの働きについて考える実験教室	
実 施 内 容	やじろべえや起き上がりこぼしなどを使った実験を通して、重心の考え方を学んだ。	
参加者の反応	実験を楽しみながら、おもりの働きを理解できた様子だった。	
材 料 ・ 道 具	紙コップ、ねんど、針金など	


講 座 番 号	No. 22	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	世界中の文字を書こう	
日 時	5月10日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学3年生以上	
参 加 人 数	17人	
ね ら い	世界の文字を紹介し、国際的な関心を広げる	
概 要	様々な国の文字について学ぶ	
実 施 内 容	世界のいろんな国の文字で自分の名前を書いた。また、インドの方をゲストに招き、インドの生活についてお話していただいた。	
参加者の反応	たくさんの国の文字に触れたり、インドの国の文化に触れることにより、他の国への関心が高まった様子だった。	
材 料 ・ 道 具	テキスト	


講 座 番 号	No. 23	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	電池と回路を学ぼう	
日 時	6月14日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	23人	
ね ら い	現代のくらしで最も身近にある電気について理解を深める	
概 要	電池と回路を使った実験教室	
実 施 内 容	豆電球と電池を使って電流がどんなときに流れるか実験を行った。	
参加者の反応	実験を通して、電気の流れについての理解が深まった様子だった。	
材 料 ・ 道 具	電気回路セット、電池、LED、豆電球など	


講 座 番 号	No. 24	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	「クライトヒカール」をつくろう	
日 時	6月28日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学3年生以上	
参 加 人 数	38人	
ね ら い	電子工作を通して機械のしくみについて考えるきっかけを与える	
概 要	はんだと電子部品を使った電子工作	
実 施 内 容	電子部品を使って簡単な電子工作を行った。	
参加者の反応	つくったものが動かなかったとき、すぐ捨ててしまうのではなく、どこかおかしいところがないか考えたり、アドバイスをもらって直したりしながら完成させていた。	
材 料 ・ 道 具	はんだごて、電子部品、延長コードなど	




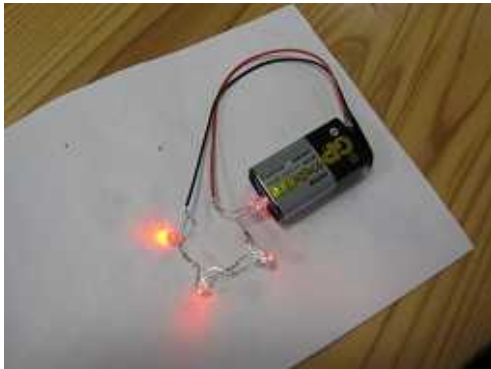
講 座 番 号	No. 25	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	足は何本？	
日 時	7月12日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	14人	
ね ら い	動物の分類方法から、色んなものを分類するときの着目の仕方を学ぶ	
概 要	様々な動物の分類学入門	
実 施 内 容	足の数に注目し、様々な動物を種類ごとに分類した。	
参加者の反応	話を聞くだけでなく、参加者が予測を立てながら自分で考え、動物を分類していた。自分で仮説を立て考えることでより理解を深めることができた。	
材 料 ・ 道 具	テキスト	


講座番号	No. 26	
区分	もった博士のかがく倶楽部	
講座名	水の表面のふしぎ	
日時	8月23日(日)10:00～12:00	
講師	市民ボランティア	
対象	小学生以上	
参加人数	14人	
ねらい	水の表面張力について学ぶ	
概要	水の表面張力についての実験教室	
実施内容	水を張ったコップに1円玉を入れたりなどの実験を通して、水に働く表面張力について学んだ。	
参加者の反応	様々な実験を通して、表面張力のしくみについて理解が深まった様子だった。	
材料・道具	コップ、1円玉、針金、洗剤、ドライアイス、ジュースなど	


講 座 番 号	No. 27	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	電子レンジって何？	
日 時	9月13日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学3年生以上	
参 加 人 数	17人	
ね ら い	電子レンジのしくみと電磁波について学ぶ	
概 要	電子レンジのしくみを学ぶ講座	
実 施 内 容	電子レンジを使って、電子レンジのしくみやマイクロ波の働きを学んだ。身の回りにある電磁波についてもレクチャーを行った。	
参加者の反応	普段使っている電子レンジのしくみについて学ぶことができ、勉強になったという声が聞かれた。日常では意識しない電磁波についても考えるきっかけとなった。	
材 料 ・ 道 具	電子レンジ、アルミホイル、コップ、氷など	

講座番号	No. 28	
区分	もった博士のかがく倶楽部	
講座名	電子工作「タッチ・ヒカ〜ル」	
日時	10月11日(日)10:00～12:00	
講師	市民ボランティア	
対象	小学3年生以上	
参加人数	25人	
ねらい	電子工作を通して機械のしくみについて考えるきっかけを与える	
概要	はんだと電子部品を使った電子工作	
実施内容	電子部品を使って簡単な電子工作を行った。電磁誘導のしくみのレクチャーを行った。	
参加者の反応	電子部品を使って自分で器械をつくる楽しさを感じているようだった。	
材料・道具	はんだごて、電子部品、延長コードなど	


講 座 番 号	No. 29	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	ミクロ探検「30 倍の世界」	
日 時	11 月 8 日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	18 人	
ね ら い	目では見えないミクロの世界への関心を高める	
概 要	顕微鏡を使った実験と観察	
実 施 内 容	顕微鏡を使って針や髪の毛の先など様々なものを拡大して見た。	
参加者の反応	肉眼では見ることでできないミクロの世界に、参加者は興味津々で、色んなものを見ようと自分からどんどん関心を広げていったのが印象的だった	
材 料 ・ 道 具	マイクロスコープ	

講 座 番 号	No. 30	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	電子工作「LED のきらきらリース」	
日 時	12月6日(日)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	67 人	
ね ら い	電子工作を通して電器のしくみについて考えるきっかけを与える	
概 要	はんだと電子部品を使った電子工作	
実 施 内 容	LED を使った簡単な電飾装置をつくった。	
参加者の反応	初めてはんだ付けを経験する参加者が多かったが、うまくはんだ付けができていた。 LED のしくみについても学ぶことができよかったという声もあった。	
材 料 ・ 道 具	はんだごて、電子部品、延長コードなど	


講 座 番 号	No. 31	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	ゆれてドキドキ「ふりこと振動」	
日 時	1月10日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学校3年生以上	
参 加 人 数	16人	
ね ら い	振り子を使って振動のしくみを学ぶ	
概 要	振り子を使った実験教室	
実 施 内 容	小さな振り子や巨大な振り子、ウクレレなどを使って周期性などの振動のしくみについて学んだ。	
参加者の反応	内容が少し難しくても、実験しながら学ぶことで、小学生の参加者でも充分理解ができた様子だった。	
材 料 ・ 道 具	糸、おもり、ウクレレ、脚立など	


講 座 番 号	No. 32	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	石ころ入門	
日 時	2月7日(日)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学校3年生以上	
参 加 人 数	33人	
ね ら い	石の分類について学ぶ	
概 要	石ころの分類入門講座	
実 施 内 容	様々な石の分類の仕方をレクチャーした。また、石が地球の長い歴史の中でつくられたことを学んだ。	
参加者の反応	大人も子どもも関係なく一緒に学ぶことができ、とても楽しいという声が出ていた。	
材 料 ・ 道 具	様々な種類の石、ルーペなど	





講 座 番 号	No. 33	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	電子工作「ちかちかシグナル」	
日 時	3月21日(日)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学校3年生以上	
参 加 人 数	30人	
ね ら い	電子工作を通して機械のしくみについて考えるきっかけを与える	
概 要	はんだと電子部品を使った電子工作	
実 施 内 容	電子部品を使って簡単な電子工作を行った。	
参加者の反応	親子で電子工作を楽しむ参加者が多かった。	
材 料 ・ 道 具	はんだごて、電子部品、延長コードなど	


## 事務局主導講座


講 座 番 号	No. 1	
区 分	事務局主導	
講 座 名	みつろうキャンドルでスローな夜を！	
日 時	6月20日(土)10:00～11:30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	21 人	
ね ら い	キャンドルづくりを通して、キャンドルナイトやスローライフへの理解を深め、今の暮らしを見つめ直すきっかけを提供する	
概 要	みつろうを使ったキャンドルづくり	
実 施 内 容	みつろうを使ったキャンドルづくりを体験し、紙しばい「ハチドリのひとしずく」の上演を行った。キャンドルナイトの取り組みを紹介した後、自分にできるエコを考え、省エネ宣言をもらった。	
参加者の反応	キャンドルナイトの取り組みに興味を持ち、家で取り組んでみたいという声が多かった。キャンドルづくりも楽しめた様子だった。	
材 料 ・ 道 具	みつろう、芯糸、空き缶、なべ、卓上 IH 調理器、ハチドリのひとしずく紙芝居など	

講 座 番 号	No. 2	
区 分	事務局主導	
講 座 名	水辺の生きものを調べよう！	
日 時	8月27日(木)9:30～12:00	
講 師	梅村 幸稔(藤前干潟を守る会)	
対 象	小学生と保護者	
参 加 人 数	16人	
ね ら い	生きものや水質など川の環境について調べ、水辺の生態系や私たちの暮らしと川のつながりについて考えるきっかけをつくる	
概 要	川の生きものの調査とレクチャー	
実 施 内 容	大谷川の生きものの調査を実施し、水の汚れを調べた。また、レクチャーでは、私たちの暮らしと川の生きものとのつながりについて学んだ。	
参加者の反応	生活排水により川が汚れていることを実感する一方で、その汚れの中でもたくさんの生きものが生きていることに驚く参加者が多かった。	
材 料 ・ 道 具	水辺の生きものの調査セット、水質調査セット	


講 座 番 号	No. 3	
区 分	事務局主導	
講 座 名	みつろうキャンドルでキャンドルナイト	
日 時	12月19日(土)10:00～11:30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	23人	
ね ら い	キャンドルづくりを通して、キャンドルナイトやスローライフへの理解を深め、今の暮らしを見つめ直すきっかけを提供する	
概 要	みつろうを使ったキャンドルづくり	
実 施 内 容	みつろうを使ったキャンドルづくりを体験した。また、キャンドルを灯しながら紙しばい「ハチドリのひとしずく」を上演し、キャンドルナイトの取り組みを紹介した後、自分にできるエコを考え、宣言してもらった。	
参加者の反応	普段とは違うのんびりとしたときの流れの中でキャンドルづくりを行うことで、エコについて考える雰囲気をつくることができた。	
材 料 ・ 道 具	みつろう、芯糸、空き缶、なべ、卓上IH調理器、ハチドリのひとしずく紙芝居など	


講 座 番 号	No. 4	
区 分	事務局主導	
講 座 名	みんな知ってる？ごみのゆくえ	
日 時	7月29日(水)13:00～15:30	
講 師	eco-T事務局、清掃業務課職員	
対 象	小学3年生～中学3年生	
参 加 人 数	9人	
ね ら い	ごみの施設見学や現場で働いている人の話を通して、私たちが毎日出しているごみへの理解を深め、ごみ減量に向けて自分にできることを考えるきっかけを提供する	
概 要	ごみの回収現場の見学とレクチャー	
実 施 内 容	プラスチック製容器包装ごみの資源化施設を訪れ、処理の工程を見学した。またパッカー車のドライバーにインタビューを行い、困っていることや家庭で気をつけて欲しいことなど、現場で働く方だからこそ感じていることのお話を聞いた。	
参加者の反応	作業の大変さや臭い、分別の状況など、現場でしか体験できない出来事はとても印象に残ったようだった。また、ドライバーとの交流は、現場をより身近に感じるきっかけとなり、ごみ問題への関心も高まった様子だった。	
材 料 ・ 道 具		


講 座 番 号	No. 5	
区 分	事務局主導	
講 座 名	ちりめんモンスターを探そう	
日 時	8月19日(水)10:00～12:00	
講 師	高山 博好 (耕さない田んぼの学校エコたん)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	54人	
ね ら い	海の生きものの多様性に触れ、生きものと人間のくらしのつながりについて学ぶ	
概 要	ちりめんを使った生きもの探しワークショップとレクチャー	
実 施 内 容	ちりめんに含まれている海の小さな生きものを分類し、生きものの多様性について考えた。また、人間のくらしの影響により、海の生きものが減ってきていることを伝え、これからは多くの生きものが生きていけるようにするために私達にできることを考えるきっかけを与えた。	
参加者の反応	カニの幼生などなかなか見ることができない生きものをたくさん発見でき、とても興奮している様子だった。海の生きものの多様さを感じてもらうことができた。	
材 料 ・ 道 具	ちりめん(講座用)、ルーペ、トレー、竹串、ストロー、記録台紙など	


講座番号	No. 6、7	
区分	事務局主導	
講座名	Tシャツワークショップ ～Tシャツに絵を描こう～	
日時	8月29日(土)13:30～16:30 8月30日(日)9:30～12:30	
講師	鈴木 公明(ジャイラ・メディアアート・アクト) 竹本 明子(ジャイラ・メディアアート・アクト)	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	32人(12人、20人)	
ねらい	全国で開催されているTシャツアート展と連携し、eco-Tの認知度を高める。また、お気に入りのTシャツに絵を描くことで物を大切にする心を育む。	
概要	環境とアートの融合を考えるワークショップ	
実施内容	JMAAスタッフによるオリジナルTシャツワークショップを実施した。Tシャツやバッグなどにイラストを描きオリジナルの作品をつくった。	
参加者の反応	自分のお気に入りの作品やプレゼントなど、参加者それぞれが思い思いの作品づくりを楽しんでいた。	
材料・道具	Tシャツ(国産・オーガニック)、インク、筆、ドライヤー、アイロンなど	




講 座 番 号	No. 8	
区 分	事務局主導	
講 座 名	世界と地球の困った現実ワークショップ	
日 時	9月12日(土)13:30～15:30	
講 師	小島 亮子(日本国際飢餓対策機構)	
対 象	小学生以上	
参 加 人 数	8人	
ね ら い	自分たちの生活と世界で起きている困った現実とのつながりを知り、世界を変えていく方法を考える	
概 要	世界の食料事情について考えるワークショップ	
実 施 内 容	途上国における食の現状を学んだ後、私たちが普段食べている物の自給率について考えた。	
参加者の反応	途上国における悲惨な食事情を知り、参加者はショックを受けていた。食べ物を粗末にしないようにしたいという声が多く出ていた。	
材 料 ・ 道 具		

講 座 番 号	No. 9	
区 分	主婦向け講座	
講 座 名	エコナプキンを使ってみませんか？	
日 時	9月17日(木)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	大人	
参 加 人 数	29人	
ね ら い	布ナプキンづくりを通して、環境のことを考え行動するきっかけをつくる	
概 要	布ナプキンづくりとレクチャー	
実 施 内 容	布ナプキン作り,紅茶での染色を体験し、使用の利点などを伝えるなど、布ナプキンについての情報交換を行った。	
参加者の反応	簡単につくることができただけでなく、実際に使用している人の話を聞くことができ参考になったという声が出ていた。	
材 料 ・ 道 具	無漂白ネル生地、有機紅茶、ミョウバン、なべ、コンロ	

講 座 番 号	No. 10	
区 分	主婦向け講座	
講 座 名	親から子への伝承 干し野菜で金山寺味噌作り	
日 時	11月18日(水)10:00～12:00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	大人	
参 加 人 数	23人	
ね ら い	伝統的な調理方法の体験を通して、昔ながらの知恵を伝え、環境について見つめ直すきっかけをつくる	
概 要	干し野菜を使った金山寺味噌づくり	
実 施 内 容	干し野菜を使って金山寺味噌づくりを体験した。また干し野菜の作り方や効用について伝え、食べ物を長く保存する昔ながらの知恵を実践した。	
参加者の反応	簡単につくることができ、家庭でもまた作ってみたいという声が多く聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	金山寺みそこうじ、ナス、ニンジン、ゴボウ、しょうゆ、みりんなど	

講 座 番 号	No. 11	
区 分	主婦向け講座	
講 座 名	ナチュラルクリーニングで年末の大掃除をやっつけよう！	
日 時	12月8日(火)10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	大人	
参 加 人 数	23人	
ね ら い	エコな掃除の方法を学ぶ	
概 要	廃食油を使った石けんづくりと石けん・合成洗剤の違いについてのレクチャー	
実 施 内 容	廃食油を使った石けんづくりを体験し、石けんと合成洗剤の違いについて伝えた。また、重曹を使った掃除の方法を伝えた後、参加者同士で家庭で行っている掃除のエコな工夫について情報交換を行った。	
参加者の反応	家庭でも重曹などを活用したエコな掃除を実践してみたいという声が多く聞かれた。	
材 料 ・ 道 具	廃食油、苛性ソーダ、米のとぎ汁、酢、一斗缶、分ける容器(牛乳パック、豆腐パック)	

講座番号	No. 12	
区分	主婦向け講座	
講座名	リメイクしてみませんか？ ～入園・入学グッズをつくろう～	
日時	2月16日(火)10:00～12:00	
講師	インタープリター	
対象	大人	
参加人数	14人	
ねらい	古着のリメイクの方法を学び実践につなげてもらう	
概要	不用になった布地を活用したリメイク	
実施内容	家で眠っている布や着なくなった服をリメイクして子どものコップ袋や箸袋をつくった。	
参加者の反応	リメイクは初めてという参加者が多かったがコツが分かり、家庭でも挑戦してみたいという声が多く聞かれた。	
材料・道具	ミシン、アイロン、アイロン台、裁縫セット、Yシャツ、飾り用ボタンなど	

連続講座 「？」が「！」に変わる 未来へのエコトーク

日にち	内容	講師	参加者数
7月18日(土) 14:00～16:00	環境問題の「もうちょっと知りたい」に応えます！	堀 孝弘(NPO 法人環境市民)	27
8月29日(土) 14:00～16:00	エコを支える新しいお金とは？ NPO バンクが拓く持続可能な地域	木村 真樹(コミュニティ・ユース・バンク momo)	20
9月19日(土) 14:00～16:00	新しいルールで地球をクールに！ Make the Rule キャンペーンが目指すもの	瀬口 亮子(Make the Rule キャンペーン実行委員会 / FoE Japan)	19
10月24日(土) 14:00～16:00	持続可能なエネルギーを創る！ 市民発の自然エネルギー革命	井筒 耕平(備前グリーンエネルギー株式会社)	16
11月14日(土) 14:00～16:00	森をホンキで守るには？ 日本の森林ビジネスの可能性	菅野 知之(株式会社ログウェル日本)	26
12月23日(水) 14:00～16:00	こんなに違う！ フランス・ドイツ・韓国のごみ減らし	服部 美佐子(環境ジャーナリスト / ごみ・環境ビジョン 21)	29
1月30日(土) 14:00～16:00	青年の立場から社会を変える！ A SEED JAPAN の取り組み	鈴木 亮(国際青年環境 NGO A SEED JAPAN)	16
2月27日(土) 14:00～16:00	日本の「食」を守るために、 私たちにできること	伊勢戸 由紀(株式会社にんじん / にんじん CLUB)	20